

## クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



## X V-AMP LX1-X

Ultra-Flexible Modeling Amp/Multi-Effects Processor with Integrated Expression Pedal

## JP 安全にお使いいただくために



## 注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



## 注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



## 注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



## 注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



## 注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついていて、これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのもの

のです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

## 法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ベックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

## 製権所有

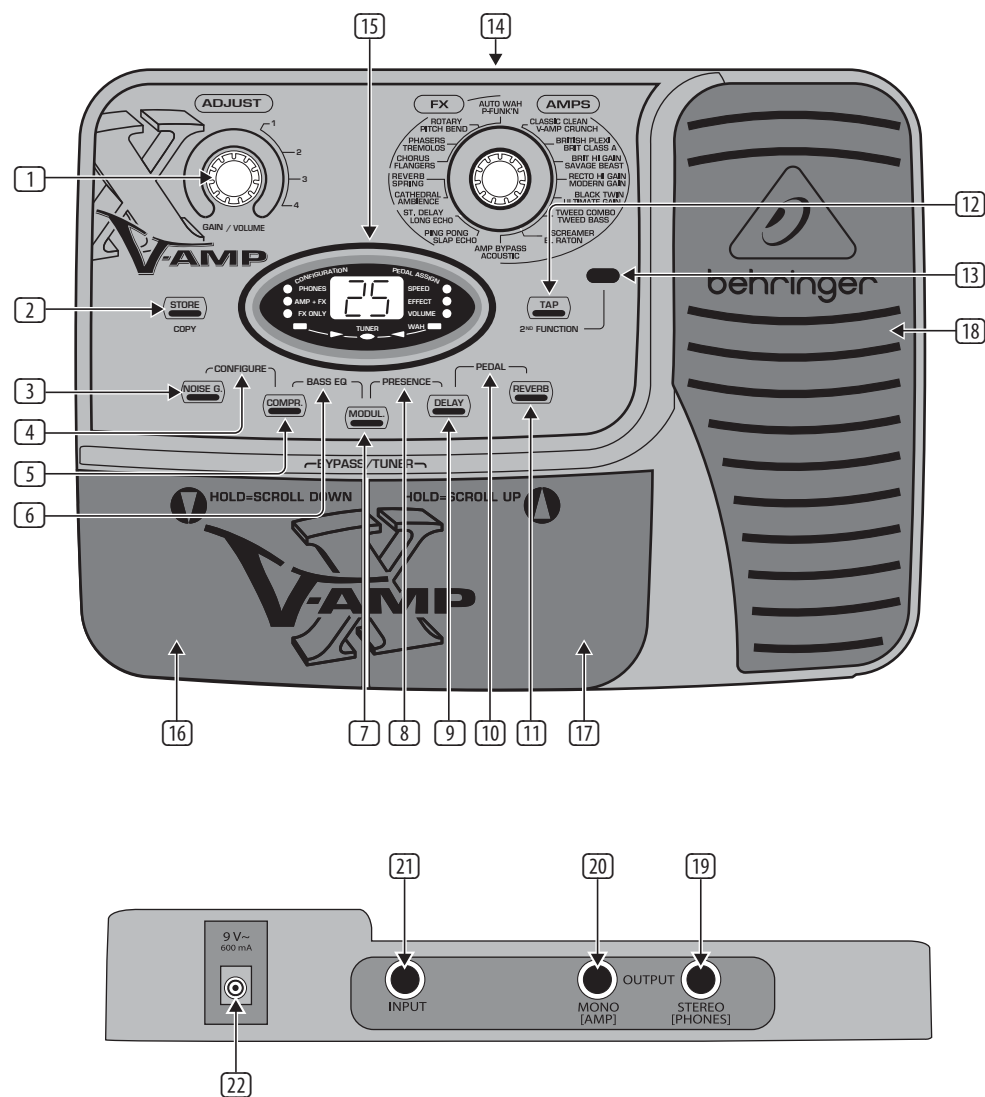
© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146, Road Town, Tortola, British Virgin Islands

## 限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 [www.music-group.com/warranty](http://www.music-group.com/warranty) にて詳細をご確認ください。

# X V-AMP LX1-X コントロール



## コントロール

### 制御要素

- ① **ADJUST:** この ADJUST コントローラーは各種の調節を行う際に使用します。
- GAIN:** キー ③、⑤、⑦、⑨、⑪ のいずれも点滅していない時にこのコントローラーを廻すと、ディストーションレベルの調節ができます。
- VOLUME:** TAP キー ⑫ を押し続けると、この ADJUST コントローラーでプリセットのボリューム調整が行えます。
- ② **STORE:** XV-AMP のプリセットは、この STORE キーを使って保存します。STORE キーが点灯している場合は、書き換えられたプリセットがまだ保存されていない状態を示しています。STORE キーを 2 秒以上押

- し続けると、編集したプリセットが保存されます。STORE LED の点灯が消えると、ディスプレイに表示された保存済プリセットが有効になっていることを示しています。
- ③ **NOISE G.** NOISE GATE は LED キーが点灯している間のみ起動および編集が可能です。スレシールド設定は ADJUST コントローラーで行います。ADJUST コントローラーを一番左端まで廻しきると NOISE GATE は解除され LED は点灯しなくなります。
- ④ **CONFIGURE.** NOISE G. ③ と COMPR. ⑤ を同時に押すと、コンフィギュレーションモードが起動します。COMPR. もしくは NOISE G. キーのどちらかを押すと個別の操作モードが選択できます。これによって XV-AMP をスタジオやライブ環境に合わせて適切に対応させることができます。

- ⑤ **COMPRESSOR.** このキーを押すとコンプレッサーモードが立ち上がります。コンプレッサーの「サステイン」設定は ADJUST コントローラーで行い、「アタック」の調節は TAP キー + ADJUST コントローラーで行います。ADJUST コントローラーを一番左端まで廻しきると、コンプレッサーは解除され LED の点灯は消えます。
- ⑥ **BASSEQ.** COMPR. ⑤ と MODUL. ⑦ を同時に押すと (両 LED が点灯します)、プリセット中の低音域を調節できます。低音域のブースト / カットは ADJUST コントローラーで行います。TAP キーを押しながら ADJUST コントローラーを廻すと、最も低い音域のみを作用させるか (ADJUST コントローラーを左に廻しきります)、高めの低音部も作用させるかを設定できます。

- ⑦ **MODULATION.** このキーを押して LED を点灯させた後、FX/AMPS コントローラー ⑭ で 8 つのモジュレーションエフェクト (コーラス、フランジャー、ピッチベンド、トレモロ、ロータリー、オートワウ、P-Funk'n) のうちのひとつを選択することが出来ます。TAP キーを押しながら FX/AMPS コントローラーを廻すとエフェクトのセカンドレイヤー (グレー) がアクセス可能となります (2nd FUNCTION LED が点灯)。プリセットのレシオ設定は ADJUST コントローラーで行います。スピードパラメータの調節には TAP キーを使ってください。MODUL. ⑦ を再び押すか、別のパラメータを選択すると、設定は解除されます。
- ⑧ **PRESENCE.** MODUL. ⑦ と DELAY ⑨ を同時に押すと、PRESENCE 設定が起動します (両 LED が点滅します)。ADJUST コントローラーを廻すことで、プリセットの PRESENCE (高音域) のブースト / カットが可能となります。TAP キーを押しながら ADJUST コントローラーを廻すと、フィルターの中心周波数が設定できます。
- ⑨ **DELAY.** このキーで DELAY の調節が可能です。このディレイ効果を使えば入力信号にエコーのような効果を与えることが可能となります。エコーの強度は ADJUST コントローラーで調節します。TAP キーを押しながら ADJUST コントローラーを廻すとフィードバックの設定が行えます。一定のリズムに合わせて TAP キーを叩くとディレイタイムの設定が可能です。
- ⑩ **PEDAL ASSIGN.** DELAY キー ⑨ と REVERB キー ⑪ を同時に押すと EXPRESSION PEDAL 機能にアサインできます (ディスプレイに「PA」が表示されます)。同時に、ディスプレイ右側にある LED のひとつが点滅します (スピード、エフェクト、ボリューム、ワウ)。これによって、下記の各機能をペダルにアサインすることが可能となります。
- **Speed:** エフェクトの SPEED パラメータを起動させるには、該当エフェクトのモジュールキー (⑦) もしくは ⑨) を押し、TAP キーで選択してください。SPEED、TAP およびエフェクトキーの各 LED が点滅します
  - **Effect:** ペダルを使用して「Mix」、「Depth」、「Feedback」、「Decay」といったエフェクトパラメータを変更する場合は、選択したエフェクトモジュールのキーを押してください。ADJUST コントローラー、もしくは ADJUST コントローラー + TAP キーでもパラメータの設定を変更できます。ディスプレイの EFFECT LED、2nd Function およびエフェクトキーが点滅します

- **Volume:** エクスプレッションペダルを使ってボリュームの調節をしたい場合は、TAP キーを押したまま ADJUST コントローラーを廻してください。2nd FUNCTION と VOLUME LED が点灯します
  - **Gain:** エクスプレッションペダルを使ってプリセットのゲインを調節したい場合は、ADJUST コントローラーを使って GAIN を変更させてください (VOLUME LED が点灯します)。その後、ペダルを使ってゲインの設定が行えます
  - **Wah Wah:** エクスプレッションペダルを踏むと自動的にワウ機能が選択され、WAH LED が点灯します
- ⑪ **REVERB.** このキーを押すと REVERB の設定ができます。リバーブ効果を使えば、室内の反射音をシミュレートできます。リバーブ効果は以下の 4 種類から選択することが出来ます: アンビエンス、カテドラル、スプリング、リバーブ。FX/AMPS コントローラーを廻すとリバーブもしくはカテドラルの選択ができます。TAP キーを押しながら FX/AMPS コントローラーを廻すと、スプリングもしくはアンビエンスの選択が可能となります。
- ⑫ TAP キーにはいくつかの機能があります:
- **GAIN/VOLUME:** ADJUST コントローラーを使って歪みの強さ (GAIN) を設定します。TAP キーを押しながら ADJUST コントローラーを廻すと、プリセットの音量を調節できます。エフェクトブロック編集中に ADJUST コントローラーを廻すとパラメータ設定のセカンドレイヤー (グレー) にアクセス可能となります
  - **FX/AMPS コントローラーと 2nd FUNCTION:** TAP を押しするとエフェクトおよびアンブシミュレーションのセカンドレイヤーを選択できます (グレー)
  - **Speed:** 音楽のリズムにあわせて TAP キーを叩くと、選択されたエフェクト (ディレイやモジュレーションエフェクト) が自動的に音楽のテンポに調節されます
- ⑬ **2nd FUNCTION.** FX/AMPS コントローラーのセカンドレイヤー機能が呼び出されるとすぐに 2nd FUNCTION LED が点灯します。

- ⑭ **FX/AMPS.** FX/AMPS コントローラーの LED は選択中のアンプモデルを表示します。2nd FUNCTION LED も同様に点灯している場合は、セカンドレイヤーにあるアンプモデルを選択しているか (グレー)、もしくはファーストレイヤー (白) にあるアンプモデルを選択していることとなります。他のアンプモデルに切り替えるには、FX/AMPS コントローラーと TAP キーも押す。
- ⑮ **DISPLAY** には選択中のプリセットの他、プリセット編集中の変更に関する情報が表示されます。TUNER が起動している場合、この DISPLAY には XV-AMP に接続された楽器の音程が表示されます。
- ⑯ **DOWN.** 00 から 99 までのプリセットをバンクダウンしていきます。フットスイッチを押し続けると、プリセットがスキップしていきます。
- ⑰ **UP.** 00 から 99 までのプリセットをバンクアップしていきます。フットスイッチを押し続けると、プリセットがスキップしていきます。
- ⑱ **EXPRESSION PEDAL.** エクスプレッションペダルはワウ効果などの操作に使用します。ペダルの下に設置されたスイッチは、この場合ワウワウのオン / オフに使用します。PEDAL ASSIGN によって別の機能をペダルにアサインすることが出来ます (例: ボリューム、エフェクト等)。⑩ 欄もご参照ください。
- ⑲ **LINE OUT/PHONES.** XV-AMP のオーディオ信号をこの LINE OUT/PHONES コネクターで取り出すことが出来ます。ヘッドフォンもしくはミキサーのどちらかをここに接続することが可能です。
- ⑳ **MONO AMP OUT.** ギターアンプをここに接続します。LINE OUT/PHONES 信号とは異なり、ここでは 20 dB 低いレベルで信号が送られます。
- ㉑ **INSTRUMENT INPUT.** XV-AMP に備えられた 6.3 mm フォンジャックです。ここにギターを接続します。接続には常に高品質 6.3 mm モノケーブルを使用してください。
- ㉒ **AC IN.** 付属の電源アダプターを接続します。電源アダプターを主電源に接続すると、XV-AMP は自動的に「オン」となります。

behringer.com にてマニュアルをチェック



## 技術仕様

楽器入力	
タイプ	アンバランス型 6.3 mm TS コネクター
入力インピーダンス	1 MΩ
最大入力レベル	+5 dBu
ライン / ヘッドフォン出力	
タイプ	バランス型 6.3 mm TRS ステレオコネクター
出力インピーダンス	約 50 Ω
最大出力レベル	+13 dBu @ 10 kΩ / +18 dBm @ 100 Ω
モノアンプ出力	
タイプ	アンバランス型 6.3 mm TS コネクター
出力インピーダンス	約 100 Ω
最大出力レベル	-7 dBu
デジタルシグナルプロセッシング	
コンバータ	24-bit デルタシグマ、64/128 倍オーバーサンプリング
Dynamics A/D	100 dB @ プリアンプバイパス
Dynamics D/A	95 dB
サンプリングレート	31.250 kHz
DSP	100 Mips
ディレイタイム	最大 1960 ms ステレオラン
タイム (Line In >> Line Out)	約 5 ms
ディスプレイ	
タイプ	2 段階 7 桁 LED ディスプレイ
電源供給	
電源電圧	
米国 / カナダ	120 V~, 60 Hz
英国 / オーストラリア	240 V~, 50 Hz
ヨーロッパ	230 V~, 50 Hz
中国 / オーストラリア	220 V~, 50 Hz
日本	100 V~, 50 - 60 Hz
消費電力	最大 7 W
電源接続	外部パワーサプライ (2 芯型)
寸法 / 重量	
外形寸法	約 70 x 235 x 175 mm
重量	約 0.75 kg
発送重量	約 1.75 kg

## その他の重要な情報

### JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**  
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group デイラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You